

工作実習 B (Manufacturing Engineering Practice B)

担当教員名	加藤 隆弘	
学科、科目詳細	機械工学科 2年 後期 専門科目 必修科目 1単位 実習	
学習・教育目標	(G)	
科目的概要	基本実習を深めるとともに、応用実習を行う。加工の理論と実際との有機的関連を通じて、基礎的技術を理解し、作業を合理的に行うための作業工程を考え、創造能力の育成を図る。	
テキスト(参考文献)	プリントを配布	
履修上の注意	実習に当たっては、とかく製品の形状、体裁のみにとらわれたり、周囲の製作進度などが気にかかるが、常に目的を把握して正しい作業を心がけ、本質的なものをつかむように心がける。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合) レポート(期日・内容等)60%，出席30%，その他(取組姿勢・協調性等)10%の総合で評価し、60%以上を合格とする。実技科目は学年を越えた継続性があるため欠席した場合、必ず追実習を受講すること。	1/3以上の欠課
連絡先	kato@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容

第1週 溶接実習III-1 ガス溶接の基本知識、ビードの置き方、注意事項などについて
第2週 溶接実習III-2 ガス溶接の基本知識、ビードの置き方、注意事項などについて
第3週 溶接実習IV-1 CO2・TIG溶接の原理、特徴、取扱い方法について
第4週 溶接実習IV-2 CO2・TIG溶接の原理、特徴、取扱い方法について
第5週 フライス実習II-1 エンドミル加工法と公差精度などの基本加工技術と考え方
第6週 フライス実習II-2 エンドミル加工法と公差精度などの基本加工技術と考え方
第7週 フライス実習II-3 エンドミル加工法と公差精度などの基本加工技術と考え方
第8週 レポート作成
第9週 フライス実習II-4 エンドミル加工法と公差精度などの基本加工技術と考え方
第10週 旋盤実習III-1 嵌め合い方式、限界ゲージの説明、転造ローレット加工法について
第11週 旋盤実習III-2 嵌め合い方式、限界ゲージの説明、転造ローレット加工法について
第12週 旋盤実習IV-1 穴あけ、中ぐり荒削り、中ぐり仕上げ削りなどの応用技術の修得
第13週 旋盤実習IV-2 穴あけ、中ぐり荒削り、中ぐり仕上げ削りなどの応用技術の修得
第14週 工場見学
第15週 レポート作成日
期末試験実施せず